

1. 題材名「がんと健康」(中学校・保健体育)

2. 目標

- ・がんについて、関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むとともに、自らの健康的な生活を実践しようとする態度を身に付けることができるようにする。
- ・がんについて、知識を活用した学習活動により、課題の解決を目指すための、思考力、判断力、表現力を身に付けることができるようにする。
- ・がんの疾病概念や予防等について、正しい基礎知識を身に付けることができるようにする。

3. 内容及び指導方針

(1)教材の位置づけ

- 1 がんとはどのような病気でしょうか？
 - ・ 1-(1)がんとは (p 2)
 - ・ 1-(2)がんの主な要因 (p 2)
- 2 我が国におけるがんの現状
 - ・ 2-(1)がんは最も大きな健康問題 (p 3)
- 3 がんの経過と様々ながんの種類
 - ・ 3-(1)がんの経過 (p 4)
- 4 がんの予防
 - ・ 4-(1)がんの原因は一つではない (p 6)
 - ・ 4-(2)望ましい生活習慣 (p 6)
 - ・ 4-(3)感染対策 (p 7)
- 5 がんの早期発見とがん検診
 - ・ 5-(1)がん検診による早期発見の重要性 (p 8)
- 6 がんの治療法
 - ・ 6-(1)がんの治療の三つの柱 (p 10)

(2)指導方針

日本人の死因として最も多いがんについて学ぶことは、中学校の内容である「個人生活における健康」を理解する上で重要である。第3学年の疾病の予防の内容において、がんを取り上げ、その要因、経過等の疾病概念、予防、検診、治療法に関する学習を通じて、生徒一人一人が、個人生活における健康に関する事柄に関心をもち、それらを科学的に理解し、適切な態度を身に付けて、行動をとることができるように指導する。そして、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成する。

4. 評価規準

(1)単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
・がんについて、学習内容に関心をもち、課題の解決に向けた話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・がんについて、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。	・がんの疾病概念や予防について理解したことを言ったり、書き出したりしている。

(2)単元の指導と評価の計画

(※a：関心・意欲・態度 b：思考・判断 c：知識・理解)

時	学習内容	学習活動	ねらい	a	b	c	評価規準	評価方法
1	がんとがんの予防	①がんの原因にはどのようなものがあるか考える。 ②がんを予防するために今の自分ができることを発表する。	がんの特性や原因、予防についての理解を深め、自ら健康的な生活を実践しようとする意欲をもたせる。	◎		◎	①がんの原因について教材を基に意欲的に調べようとしている。 ②がんの予防について、学習した知識を、ノートに書いたり発表したりしている。	観察 観察 成果物
2	がん検診とがんの治療	③がんの早期発見と検診についての課題を、資料から読み取り判断し、発表する。 ④がんについて学習したことを振り返り、身に付けた知識を基にまとめる。	がんの早期発見の重要性について知るとともに、検診および治療についての理解を深め、自らの健康生活の実践に生かせるようにする。		◎	◎	③資料から課題を見つけたり、判断したり、考えまとめたりして、説明している。 ④がんの予防、検診、治療について理解したことを発表したり書き出したりしている。	観察 観察 成果物

5. 展開例

(第1時／2時間)

時間	主な学習内容・学習活動	教材	指導上の留意点
はじめ 10分	1. 本時の学習内容を確認する。 ・「がん」が、日本人の死因の第1位であることを確認する。 ・どのような「がん」があるか、知っているものを発表する。 2. がんとはどのような病気でしょうか？		○授業の始めに、身近な人をがんで亡くしたり身近にがん患者がいたりする生徒に対する配慮として「授業中に話を聞くのが辛くなったら、遠慮なく退室してよい。」と声をかける。その際、養護教諭等と連携をとり、スムーズに対応できるようにする。
	がんについてどのようなイメージをもっていますか。 〈予想される回答〉 ・怖い、治らない、等		○事前にアンケートを実施し、生徒の実態を把握することもできる。 ○生徒数名に発言させる。生徒の発言に対し

			て、ここでは解説等は加えない。
な か 35 分	(1)がんとは がんの仕組みについて理解する。 (2)がんの主な要因	1-(1) p 2 (図 1)	○「がん細胞」のできかた、健康な人でも「がん細胞」が毎日多数発生していること。免疫機能が「がん細胞」を死滅させている点を理解させる。
	がんの原因にはどのようなものがあると思いますか、調べてみよう。		
	○教材を基に、がんの原因についてグループごとに話し合って、まとめる。 (予想される回答) ・たばこ、お酒、食事、運動不足	1-(2) p 2 (図 2)	○調べてまとめたものを掲示して、全体で共有する。 ○これまで知らなかった原因について色分けさせ、強調する。 ◆関心・意欲・態度 がんの原因について教材を基に意欲的に調べようとしている。 (観察・グループワーク)
	3. がんの経過とさまざまながんの種類 (1)がんの経過 がんはどのように進行するのか、がん細胞が進行がんになるまでの経過について理解する。	3-(1) p 4 (図 1)	○図 1 を用いてがんの進行について説明する。進行がんとなると、命を失うこともあるので、早期がんの期間に発見することが重要であることを理解させる。
	4. 我が国におけるがんの現状 (1)がんは最も大きな健康課題 がんは日本人の死因の第 1 位であること、日本人の 2 人に 1 人がかかり、3 人に 1 人が亡くなっていることを知る。	2-(1) p 3 (図 1)	○図 1 を参照し、がんにかかる人が増え続けていることを補足する。
	5. がんの予防 (1)がんの原因は一つではない がんの原因について理解する。	4-(1) p 6	○がんにかかる原因は様々であることについて資料を用いて説明するとともに、次に学習する健康的な生活習慣を実践しようとする意欲を持たせる。
	(2)望ましい生活習慣 下記の 5 つの生活習慣を実践すると、がんになるリスクが低くなることを理解する。 ①たばこを吸わない ②飲酒をしない ③バランスの良い食事をとる	4-(2) p 6 (図 1)	○①～⑤の生活習慣が、がんになるリスクとどのように関係しているのか、資料の内容を用いて具体的に説明する。

	<p>④積極的に身体活動をする</p> <p>⑤適正体重を維持する</p> <p>(3)感染対策</p> <p>胃がんや肝がん、子宮頸がんのように、ウイルスや細菌等の感染が原因で発生するがんがあることを知る。</p>	4-(3) p 7	○感染検査を受けることが望ましいことを説明する。
まとめ 5分	<p>がんを予防するために、今の自分にできること、大人になってからできることを考えよう。</p> <p>○がんを予防するために、今の自分にできること、大人になってからできることをノートにまとめる。</p> <p>〈予想される回答〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこを吸わない、お酒を飲みすぎない、野菜を食べる、運動する 		<p>○考えたことをノートに書かせ、生徒数名に発表させる。</p> <p>◆知識・理解</p> <p>がんの予防について、学習した知識をもとに、自らの考えをノートに書いたり発表したりしようとしている。</p> <p>(観察、ノート)</p> <p>○がん予防のために必要な事を振り返るとともに、自ら健康的な生活を実践しようとする意欲をもたせる。</p>

(第2時／2時間)

時間	主な学習内容・学習活動	教材	指導上の留意点
はじめ 5分	<p>1. 前時の学習内容について振り返る。</p> <p>2. 本時の学習内容を確認する。</p>		<p>○第1時と同様に、身近な人をがんで亡くしている生徒や、身近にがん患者がいる生徒に対する配慮をしながら授業を進める。</p> <p>○本時の学習内容について、がん経験者が直った例などを挙げ、検診と治療がポイントになることを伝える。</p>
なか 35分	<p>3. がんの早期発見とがん検診</p> <p>あなたの家の人は、がん検診を受けていますか。</p> <p>①受けている</p> <p>②受けていない</p> <p>③知らない</p>		○そう考えた理由などを発言させ、検診の意義について考えさせる。
	<p>図1、図2およびp4図1を見て、わたしたちが気をつけるべき点を、話し合ってみよう。</p> <p>○図1、2およびp4の図1を見て、がんにならないためにはどのようにしたらよいか、気をつける点について、グループごとに話し合ってみよう。</p>	<p>p 8 (図1) (図2) p 4</p>	<p>◆思考・判断</p> <p>がんの早期発見の重要性と早期発見のためのがん検診について、資料から課題を見つけたり、判断したり、考えまとめたりし</p>

	<p>〈予想される回答〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く見つけた方がよい、検査を受けたほうがよい、早く見つけたら治りやすい、大人になったらがん検診を受けた方がよい <p>(1)がん検診による早期発見の重要性</p> <p>がんは、進行すればするほど治癒率が低くなるので、早期に発見するために定期的ながん検診を受ける必要があることを知る。</p> <p>我が国で行われている、がん検診について知る。</p> <p>4. がんの治療法</p>	<p>(図1)</p> <p>5-(1) p 8</p>	<p>て、説明している。 (観察・グループワーク)</p> <p>○図1を参照し、早期発見が大切であることを理解させる。また、がんは、症状がないまま進行する病気であるので、症状がなくても定期的に検診を受ける必要があることを理解させる。</p> <p>○図2を参照し、国が推奨しているがん検診について理解させるとともに、生徒が該当年齢になったら、がん検診を受けようという意識をもたせる。</p>
<p>がんの治療について知っていることを挙げてみよう。</p>			
	<p>〈予想される回答〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術する、抗がん剤、髪の毛が抜ける <p>(1)がんの治療の三つの柱</p> <p>がんの治療には下記の3つと緩和ケアがあることを知る。</p> <p>①手術治療 ②放射線治療 ③薬物治療</p>	<p>6-(1) p 10 (図1)</p>	<p>○生徒数名に発言させる。</p> <p>○①～③の治療法がどのようなものであるか、図1および資料を用いて説明する。</p> <p>○がんの治療は、3つの治療法を、単独、あるいは組み合わせで行うことを理解させる。</p> <p>○p 12の緩和ケアについても触れ、患者や家族の「体と心の痛み」を和らげる支援をしていることを説明する。</p>
<p>これだけ治療法が確立しているのに、なぜ多くの日本人ががんになり、死亡しているのか考えてみよう。</p>			
	<p>〈予想される回答〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査を受けないから、最初は自覚症状がないから、病院に行かないから、高齢化しているから 		<p>○生徒数名に発言させる。</p> <p>○これまでの知識を活用して考えられるように指導する。</p>
<p>まとめ 10</p>	<p>5. がんについて学習したことを振り返る。</p>		<p>これまで学習したことを基に、今の自分にできること、大人になってできることを考えよう。</p>

分	<p>○がんについて学習したことを振り返りながら、がんを予防するためにできること（検診も含めて）を今できることと大人になってできることに分け、ワークシートにまとめる。</p>	<p>○ワークシートを活用し、これまでに学んだ点について振り返り、知識を習得することができたか確認をする。</p> <p>◆知識・理解</p> <p>がんの予防、検診、治療について理解したことを発言したり、書き出したりしている。</p> <p>（観察・ワークシート）</p>
---	---	---